

新型コロナウイルス感染症のワクチンについて考える

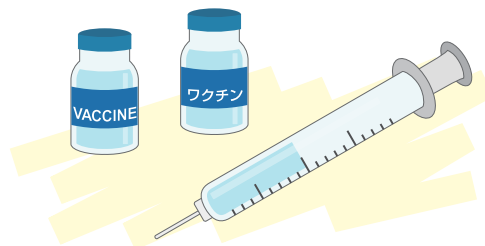
院長 芳賀克夫

我が国でもいよいよ新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まりましたが、情報が少なく、困惑されている方も多いと思います。以下、日本で承認が下りたファイザー社のワクチンについて、整理してみましょう。

まずワクチンの効果についてですが、海外6カ国(米国、ドイツ、トルコ、ブラジル、アルゼンチン、南アフリカ)で臨床試験が行われました。これは健康な人約3万6千人を二つの群に分け、片方の群にはワクチンを注射し、もう一方の群には二セモノの薬を注射するという実験です。その結果、ワクチンが注射された人約1万8千人のうち新型コロナウイルス感染症が発症した人は8人でした。一方、二セモノの薬を注射された人約1万8千人のうち新型コロナウイルス感染症が発症した人は162人でした。つまり、ワクチンを注射した人は、しなかった人と比べて、発病が20分の1に抑えられたということです。

次に、ワクチンを注射した後の副反応についてですが、注射した部位の痛み、頭痛、疲労感、発熱、寒気、関節痛などが報告されています。重篤なものは少ないようですが、アメリカの医療従事者の中には、注射を打った翌日は仕事を休みにしておいた方がいいとアドバイスする人もいます。20万人に1人ぐらいの割合で、重篤なアレルギー反応が起こっていますが、早期に処置することにより、救命できています。

過去に起こった感染症の流行の経験から、人口の6~7割の人が免疫を持てば、流行は収まると言われています。今回開発されたワクチンは十分効果が高く、必ず新型コロナウイルス感染症の流行を終息させてくれると信じています。



《 お 知 ら せ 》

4月より皮膚科非常勤の本多教稔医師が常勤医師となりました。皮膚科外来日は月・水・金曜日の週3回となります。

また、整形外科は常勤医師が1名増えて3名体制となります。これまでより多くの手術を行い、外来診療も充実させていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

正面玄関に体温計を設置しました

正面玄関と健診センターの出入口に非接触体温計を設置しました。

来院時は、検温、手指衛生、マスク装着のご協力をお願い致します。



消防訓練を実施しました

病院では年2回、消防訓練(当病院は防災訓練も)の実施が義務付けられています。あつてはならないことですが、もしも病院で火災(災害)が起こったら、その場にいる職員は素早い初期対応が求められます。

今回は、消防署への通報、避難経路の確認、避難器具(エアストレッチャー)・屋内消火栓・消火器の使い方、また洪水を想定しての防潮堤の設置の訓練を消防署の隊員の方々にチェックしていただき、講評をいただきました。

いざ火災報知器が鳴るとパニックになってしまい機械の操作方法がわからなくなる事も考えられるので、職員は、どの様に避難して患者様の安全を確保するのか、防火設備の知識や消火器の使い方など、こうした訓練を何度も行う中で、いざという時の病院の「安心と安全」を守ることができるよう日々努力しています。



栄養管理室の取り組み

栄養管理室長 城下勝孝

今回は栄養管理室の取り組みをご紹介します。当院は熊本県指定がん診療連携拠点病院であり、がん治療に積極的に取り組んでおります。昨年、私たちは外来化学療法室へ専任の管理栄養士を配置することを決定しました。配置に至った理由としては、外来化学療法を実施している病院で、専門的な知識を有した管理栄養士が栄養指導を行うと、体調の維持・改善される傾向がみられると報告された事が大きく、令和2年度の診療報酬改定においても「外来化学療法での栄養管理の評価」が見直され、今までは指導時間の制限がありましたが、今回の改定から時間の制限がはずされました。これにより患者さんの体調にあわせて指導が行えるようになり、双方の負担が大きく緩和されたことが大きかったといえます。

さてここで、がん治療の一つである薬物療法について少し触れたいと思います。がん薬物療法とは、薬を用いて、がん細胞を死滅させたり、がん細胞の増殖を抑えたりする治療のことで、化学療法、分子標的療法、ホルモン療法、免疫療法など多くの治療法があります。

【化学療法】は、抗がん剤を用いてがん細胞を攻撃し、殺傷したり、増殖を抑えたりする治療法で、血液を通じて身体のすみずみまで行き渡らせることによって、全身に散らばったがん細胞に作用させる仕組みです。がん細胞に対する殺傷能力に優れる一方、腸や皮膚、毛根、骨髄など、活発に増殖する正常細胞にも影響が及びやすいなどの欠点があり、副作用には、吐き気・嘔吐・脱毛、骨髄抑制などがあげられます。

【分子標的療法】は、がん細胞に多く見られる物質、がんの増殖に関係したりする特定の分子(蛋白質など)に作用することで効果を著しくあげ、できるだけ副作用を減らすことを目的とした治療です。

【ホルモン療法】は、がんの成長を促すホルモンの分泌を抑えたり、ホルモンががん細胞に作用するのを抑えたりすることで、がんの増殖を阻害する治療法です。

【免疫療法】は、近年注目を集めたのでご存じかと思いますが、「オプジーボ」がこれに該当します。人の身体では、毎日がん細胞が生まれていますが通常は免疫機能が働いて増殖しません。発症したがんでは、がん細胞が免疫機能にブレーキをかけて本来の力を発揮できないようにしていると思われていますが、この免疫が本来持っている機能を回復させ、がんを抑えようとする仕組みが免疫療法であり、免疫チェックポイント阻害薬とも呼ばれています。

ところで、抗がん剤にはどんな種類でも必ず副作用があります。作用が強力なためそれを取り除くことは困難といえます。しかし、近年副作用に対する薬も開発が進み非常に効果をあげています。またそれぞれの薬剤の副作用も判明しており、化学療法なら吐き気・嘔吐・脱毛、骨髄抑制などがみられ、食事もそれらに注意した内容を指導します。

一方、免疫療法ではあまり骨髄抑制は見られませんが、生ものなどの注意はあまりしませんが、薬剤性の要素が大きい下痢の発生が見られることがあるため注意を払うよう指導します。

1人1人使用する薬剤が違うため、副作用は人それぞれです。その方にあった解決策をみつけていくことは大変な作業ではありますが、少しでもお役に立てることを願いながら取り組んでおります。



2021年 外来診療担当表(3月)

受付時間: 午前8時30分～午前11時00分 (受付時間は診療科で多少異なります)

診療科		月	火	水	木	金
内 科	新患・予約外 担当	小 松 太 陽			担 当 医	担 当 医
	呼吸器内科			金 子 篤 志 小 松 太 陽		金 子 篤 志
	消化器内科				岩 澤 秀	岩 澤 秀
	腫瘍内科		熊野御堂慧 受付時間: 9:30～11:30	熊野御堂慧 (再診のみ)	熊野御堂慧 受付時間: 9:30～11:30	
	血液内科		宮 家 宏 定			大 学
	循環器内科				徳永信行(大学)	
	代謝内科	宮川展和(大学)				
	二次検査 担当		竹口東一郎	竹口東一郎		
	備 考	火・水曜日は予約・紹介の方のみとなります。				
外 科	診 察	坂 本 慶 太	藤 川 和 晃	坂 本 慶 太	村 上 聖 一	村 上 聖 一
	乳腺・その他 検査	竹口東一郎	坂 本 慶 太	村 上 聖 一		藤 川 和 晃
	備 考	木曜日は予約の方のみとなります(新患はお受けできません)。 木曜日は乳腺・その他検査が出来ません。火曜日(午後)・木曜日(午前・午後)は手術です。				
整形外科		木 山 貴 彦	木 山 貴 彦	森 修	木 山 貴 彦	木 山 貴 彦
		西 野 剛 史	西 野 剛 史		西 野 剛 史	西 野 剛 史
備 考		手術は毎週水曜日(午前・午後)・第1・3・4金曜日(午後)です。				
脳神経外科		矢 野 辰 志		矢 野 辰 志	矢 野 辰 志	
産 科		荒木真佐子	松 尾 勇 児 吉 積 貴 子	荒木真佐子	松 尾 勇 児 吉 積 貴 子	荒木真佐子
婦人科		松 尾 勇 児 吉 積 貴 子	荒木真佐子	松 尾 勇 児 吉 積 貴 子	荒木真佐子	松 尾 勇 児 吉 積 貴 子
放射線科		担 当 医	吉 住 和 弘	小 林 直 樹	小 林 直 樹	担 当 医
				大津家裕仁(大学) (放射線治療医)		松山知彦(大学) (放射線治療医)
皮膚科		江 頭 翔			本多教稔(大学)	
歯科口腔外科		田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也
		合 屋 健	合 屋 健	合 屋 健	合 屋 健	合 屋 健
		午後は13:00～16:00の受付時間です。毎週火曜日・第2・4木曜日は午前中手術の為、午後からの診療です。				

◎火曜日、水曜日は予約・紹介の患者様のみの診察になります。

◎学会等により担当医師が変更になる場合や、休診となる場合がありますので御了承ください。

◎急患及び手術等で受付時間が変更になる場合がありますので御了承ください。